

私たちの町議会 りくべっ

No. 102

発行月日・令和2年11月20日
編集・議会運営委員会
発行・北海道陸別町議会

9月定例会

陸別町議会9月定例会は、9月8日から16日まで、その内の4日間開かれました。今定例会では、条例案1件、規約の変更3件、補正予算案4件、意見書案3件を可決し、令和元年度決算全7会計を全て認定し、閉会しました。

プレミアム付商品券発行《プレミアム率50%》

補正予算質疑から

地域間幹線系統路線維持費
補助金 1千284万円

Q 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、十勝バス・北見バスの利用者が減少していると思われるが、当町がバス利用者に対して実施している、バス利用助成金の利用実績について伺う。

A 昨年の8月末で利用者861人、助成金17万円程であったが、今年の8月末で利用者561人、助成金83万円程であり、利用者数で35%、助成金で30%ほど減少している。

農業者新型コロナウイルス対策支援補助金 948万円

Q 新型コロナウイルスの影響により、肉用牛、乳用牛の価格が下落しているため、農業者を支援するという意味合いから、1頭につき千円を補助している。しかし、これからもっと深刻な影響が出てくるものと

予想できるので、更に金額を増やす考えはないか。

A 今回の1頭当たり千円については、農協関係者ともいろいろ協議したうえで決定した。しかし、まだ新型コロナウイルスは終息していないので、今後更なる支援が必要となった場合は、金額の追加についても検討していきたい。

しほれ技術開発研究事業 310万円

Q 現在、イベントセンターに展示してある雪

上車を移設する費用の中身について伺う。

A 南極観測隊が実際に南極で使用していた雪上車とそりを、道の駅周辺に移設するために、約10m程度のカーポートや防護柵を整備して、多くの方に見ていただきたい。

プレミアム付商品券発行事業 1千129万円

Q 今回の販売数は3千セット、プレミアム率は50%ということもあり、多くの町民が購入するものと思われる。よって、新型コロナウイルス感染対策として、購入時に密とならない対策及び年金支給日以後に販売を開始するといった考えはないか。

A 9月23日から10月6日までの期間商工会において事前予約の申し込みを受け付ける。また、10月8日から23日までを引き換え期間と定め、密にならない対策を取りながら、多くの方に購入していただきたい。



▶南極で使用されていた雪上車

令和元年度 決算認定質疑

●資料館使用料

13万円（歳入）

Q 道の駅館内にある関
寛齋資料館を、多くの

町民が身近でゆっくり見学
できるよつにするためにも、
役場近郊もしくは公民館等
に移転させる考えはないか。

A 非常に貴重な資料を
展示しており、多くの
方に関寛齋を知っていただ
きだと思つている。現時
点では、道の駅館内で展示
を続けていくことじしたい。

ただし、公民館機能、関寛
齋資料館及び旧中斗満小学
校において展示している郷
土資料が3か所に分散され
ていることもあり、建物を
1か所に集約し、陸別の歴
史を多くの方に見ていただ
けるよう、今後内部で議論
を深めて行きたいと思つて
いる。

●福祉住宅使用料

48万円（歳入）

Q 福祉住宅からまつハ
ウスは住宅の立地環境、
使用料負担を含めて非常に

使い勝手の良い福祉施設で
ある。しかし、昨今、入居

者の募集を行つても空室が
続いている状態にあるが、
今後どのような方法で、町
民へのアプローチを行つて
いくのか。

A 立地条件は良く非常
に利便性は高いと思つて
いるが、施設の熱源が全
て電気であり、また、入居
要件が非課税世帯、住宅困
窮者ということもあり、入
居の資格が厳しいこともあ
ると思つ。しかし、今後も
声掛けや家族を含めた見学
会、説明会を実施して、入
居者の確保に力を入れてい
きたい。

●出産祝い金事業

480万円

Q とで、子育て支援に対
する効果があつたと思つが、
今後、子育ての更なる支援
策として、どのようなこと
を考えているのか。

A 保育所の受け入れ年
齢の拡大を考えている。
また、子育て支援は今後も
続けていくが、親にも何か
しらの支援策が必要である
と思つたので、同時進行

しながら色々研究してい
きたい。

Q 緊急車両の出動状況につ
いて

昨年、町外への出動件数
と、緊急出動時の新型コ
ナウイルス感染防止として
どのような対策を取られて
いるのか。

A 昨年は、町内129
件、町外9件出動した。
緊急出動時の対策としては、
まず、とちかち広域消防事務
組合から緊急出動の指令が
入り、その時点で新型コ
ナウイルス等の関連情報も
併せて入ってくるので、職
員は防護服を着用して、
感染防止に努めている。



▲ 緊急出動時は防護服を着用

令和元年度 各会計の決算の状況

(単位：万円 千円以下端数処理)

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	差引余剰金	繰越明許費繰越額	一般会計からの支援額	実質に近い収支
一 般 会 計	49億3,035	48億1,240	1億1,795	1,145		1億 650
特 別 会 計	国保事業勘定	4億2,755	4億1,738	1,017	0	1,017
	国保直診勘定	3億3,144	3億1,496	1,648	0	1億3,441
	簡易水道事業	1億7,077	1億6,604	473	0	4,910
	公共下水道事業	1億4,922	1億4,658	264	0	3,669
	介護保険事業勘定	3億1,052	2億8,563	2,489	0	0
	後期高齢者医療	4,714	4,714	0	0	0

一般質問

9月定例会では5人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

第5期陸別町総合計画の

達成評価と課題について

渡辺 三義 議員

農業振興・

林業振興について

Q 本町の農業振興対策事業、林業振興対策事業については、多くの支援策を進めてきている。しかし、就労者の高齢化、離農、無立木地、担い手不足等の課題も多い中で、農業振興政策及び林業振興政策について、どう評価しているのか。

(野尻町長)

A 農業振興、林業振興については、後継者問題、労働者不足等の課題は多々あるが、乳量の生産量、生産高は増加している。また、林業においては、高性能の林業機械の導入に対し、補助を出すことによって、経営の

安定と雇用の創出を図ると共に、今後も地域や関係機関との連携を取りながら前へ進めていきたい。

地域医療について

Q 診療所に関する意見、苦情等について、町長

にはどのような形で寄せられているのか。

(町長)

A 意見や苦情等が直接私の所にも来ることもあるが、診療所からも間接的に届いている。

Q 診療所における苦情や問題等についてどのように取り組んでいるのか。

(町長)

A 町民からの意見、苦情等に対して耳を傾け、よりよい診療所になるために、今月から2か月間、受診された方に対してアンケート調査を実施している。その結果を職員全体で共有しながら、改善とニーズの把握に努めていきたい。

学校教育について

Q 第5期における学校教育の評価と小中一貫教育の現状及び小中学校統合の考えについて伺う。

(有田教育長)

A 学校行政運営方針に基づき、全般的に順調に進んだものと思っている。

平成31年度に小中一貫校教育がスタートし、始まったばかりであり、まだ評価するまでには至らないが、一歩ずつ前に進めていく。統合については、児童生徒数の減少傾向を見ると、特に今すぐには考えていない。

生涯学習について

Q 生涯学習における、社会教育・社会体育事業については、どう評価しているのか。

(教育長)

A 活動拠点となる施設の老朽化と、人口の減少に伴い、それぞれの団体構成委員の減少、及び高齢化等によって、団体活動の縮小、休止等が課題である。今年度は、第9期陸別町社会教育計画策定の年であることから、町民ニーズの把握に努めると共に、各関係機関と課題について協議を行いながら計画を作成していきたい。



▶デントコーンの収穫



ここが聞きたい

新型コロナウイルス感染拡大の影響と今後の対策について

久保 広幸 議員

Q 新型コロナウイルスの感染拡大は、小児状態が続いているものの、未だ予断を許さない状況にあることに変わりはない。再び、緊急事態宣言が出された場合の教訓とすべく、学校運営、医療・福祉、経済活動、そして防災について伺う。

A 最初に学校運営について、教員は感染防止などの新たな業務に追われる中で、学習の遅れをどのように取り戻すことになるのか。

(有田教育長)

A 学習の進捗状況の個人差への対応として、小学校では夏休み期間中、教員等の協力によって個別指導ウィークに取り組んだ。実施後、児童や保護者の反応、そして教員の手応えとしても良いものであった。

Q また、中学校においては、学校再開後、数学科における習熟度別授業の実施や放課後学習のサポートなど、指導方法の工夫によって個人差の解消に努めている。

A 医療・福祉について、この度の新型コロナウイルスの感染拡大に伴う医療の提供体制に関してオンライン診療が耳目を集めている。町民の健康管理の観点からも医療機関の連携システムが必要ではないか。

(野尻町長)

A 関係機関での情報共有による町民の健康管理については、国の健康医療、介護情報共有方針が固まり、動き出したところである。内容を確認しながら、必要な体制を整備していく。

(野尻町長)

Q 経済活動については、管内他町においては新型コロナウイルス感染拡大の影響で離職した町民と、離職者を雇用した町内企業に支援金を給付する事業が行なわれている。当町では事業の縮小につながるような影響は出ていないのか。

A また、国の国産農林水産物等販売促進緊急対策事業の活用について、受益者やその関係団体等からの相談要請があったのか。

(町長)

A 新型コロナウイルス感染の全国的な拡大によって、町内の事業者にも様々な経済活動への影響は有るが、幸いにそれに起因する事業の縮小や廃止、そして離職者も発生していない。今後とも、状況を注視していきたい。

(野尻町長)

Q 防災について、国の防災基本計画では豪雨等による水害など、避難の必要性が確実に増している中、避難所の過密を抑えるなど、感染症の予防を取り入れた対策が必要としているが、対応の状況を伺う。

A 本年度は、3年に一度の総合防災訓練を実施する年で、今回は福祉避難所の開設訓練としているが、新型コロナウイルスの感染予防の観点から通常より規模を縮小して、10月6日に行う予定である。

(町長)

A また、ハザードマップも改め、浸水想定区域や土砂災害警戒箇所、避難場所等を載せ、全世帯に配布する。



▲ 陸別町総合防災訓練 (10/6)



インフルエンザ予防接種費用の 助成拡大について

中村 佳代子 議員

Q 新型コロナウイルス感染拡大により、不安な生活が続いている中、これから風邪やインフルエンザの流行が到来する。コロナウイルス感染症とインフルエンザの初期症状が似ていることもあり、医療現場においては、相当の混乱が生じるものと思われる。当町においては、65歳以上の方や高校生以下の子どもなど、8項目の対象者に限り、インフルエンザワクチン接種が無償で受けられている。

そこで、今年は新型コロナウイルス感染症との同時流行を見越して、接種費用の助成を全町民まで拡大し、最大限の警戒を行う考えはないか。

(野尻町長)

A ワクチンの購入数は、例年購入している数がベースになるため、購入したワクチンが無くなり次第、接種終了となる。そのため、助成の対象を拡大してしまうことにより、優先的に接種すべき方が受けられなくなることも危惧されるので、助成の拡大は考えていない。

Q 新型コロナウイルス感染とインフルエンザの同時流行を見越して、例年は11月から開始されるインフルエンザワクチンの予防接種を、今年は早めてはどうか。

(町長)

A 予防接種は、ワクチンの供給が受けられた時点から開始することになるので、10月に入ってから開始したいと思っている。しかし、まだいつから開始するとは言えない状況である。

発熱患者と 通常の外來患者との 空間分離について

Q 現在、診療所の発熱患者は受付後、裏側の通路で待機し、レントゲン室において診察を行っている。

しかし、このような動線のやり方では、裏側の通路が狭いこともあり、一般患者と発熱患者との距離を保つことが難しいと思われる。よって、通常の外來患者と発熱患者が互いに安心して受診できるように、発熱患者を対象とした受診時間の設定、電話予約及び車中待機などの対策を取るべきではないか。

(町長)

A 管内で新型コロナウイルス感染症の患者が大幅に増えてきた場合は、発熱患者の時間を設定する等、今後の状況を見ながら判断していく。これからも町民目線に立った運営方法について、検討していきたいと思っている。

陸別町国民健康保険関寛齋診療所の診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
午前8:45~11:30	角熊 高橋	角熊 高橋	角熊 高橋	角熊 高橋	角熊 高橋		
(変更) 午後1:30~3:00	高橋	休診	角熊	高橋	角熊	休診	休診
(新設) 発熱外来	午後3:00~4:00	午後4:00~5:00	午後3:00~4:00				
(変更) 夜間診療	—	夜間診療	—	—	—		
午後5:00~6:30							

●発熱などかぜの症状がある方は、必ず事前にお電話をいただきますようお願いいたします。(☎27-2135)

▲発熱外来が新設され診療時間変更

豪雨災害に備えての対策について

谷 郁 司 議員

Q 今年、各地方で豪雨による被害が発生しているが、当町の元町及び緑町を流れる利別川の築堤整備計画はどのようになっているのか。

(野尻町長)

A 平成28年8月に台風被害があつたことから、令和元年度より利別川改修事業陸別地区として、陸別橋から緑町までの区間を、令和4年度に着手して、令和6年度までに整備をしていく予定にある。ただし、道の予算の動向によつては、整備期間が変更されることもあり得る。

Q 栄町地区を流れている、一問川の排水路の清掃管理はどのように行っているのか。

(町長)

A 平成26年度と平成30年度に町が委託業者に

依頼し、河道整備を行つていく。今後においても、河道の確保を始め草木の除去も行いながら、管理に努めていく。

Q 下斗満にあるJA哺育センターの裏側は、斗満川の影響によつて浸食

による被害が出てくること予想されるため、この場所の整備計画について伺う。

(町長)

A 平成28年度に護岸工事は既に終了しているが、工事箇所以外の民地の土地が浸食していることもあり、早急に整備を道に要請していきたい。

Q 中陸別付近を流れる陸別川の影響に伴う、道道51号線の浸食と今後の整備計画について伺う。

(町長)

A 既に平成27年3月、擁壁の設置工事は完了

している。今後は、道道51号線は、陸別川から離れた箇所道路を造設する予定のため、更なる河川整備は予定していないと、道からの回答を得ている。

Q 市街地における排水路樋門の数と保守管理及び災害時の対応はどのようになっているのか。

(町長)

A 樋門数は、陸別川で13箇所、利別川で2箇所あり、委託業者によつて保守点検等を実施している。

また、災害時の樋門の開閉については、北海道、陸別町及び委託業者の3者において、連携を取りながら実施することになっている。

Q 町内の各河川における水位計及び河川監視

カメラの設置数と、監視体制はどのようになっているのか。

(町長)

A 陸別川、利別川に水位計と河川監視カメラを各1箇所ずつ設置し、斗満川には水位計を1箇所設置している。また、河川監視カメラからの情報については、パソコン等から情報を得ながら対応に当たっている。

Q 災害時における避難発令までの体制と、情報伝達等はあるような方法で行うのか。

(町長)

A 気象災害時においては、町長を本部長とする災害本部を立ち上げ、状況に応じて、避難準備・勧告・指示を発令することになる。情報の伝達は、愛の鐘、広報車両、緊急速報メール等により行うが、身体等が不自由な方に対しては、直接個別訪問をして周知していく。



▶ 陸別川に設置されている樋門

コロナ禍における今後の

町内産業支援・振興について

三輪隼平 議員

Q 未だ町民の宴会等に
対する自粛がみられる
状況下であり、飲食店にお
かれては、このままの状態
が続けば、年末年始の営業
に大きな影響が出るものと
懸念している。現在、ウイ
ズコロナ（コロナと共存）
という言葉も生まれている
中において、当町の産業振
興に対して、どのように考
えているのか。

（野尻町長）

A 新型コロナウイルス
が発生したことに伴い、
会食等のスタイル変更や生
活分野など急激に変化して
いる。新型コロナウイルス
との戦いは、今年限りの短
期勝負ではなく、長期的に
対応していく必要があると
考えている。

また、事業主体が商工会
のプレミアム付商品券につ

いては、今回、必要な方が
確実に購入できるようにと
全世帯へ個別に案内を出す
ことを検討している。これ
により、高齢者の方を含め
て、本来に必要としている
方に、公平に購入してい
ただけるものと思っている。

Q 多くの町内イベント
が新型コロナウイルス
感染防止対策により中止と
なっているが、町民の生活
感情が少しでも上がるよう
な催しを企画することはで
きないか。また、町のSN
S等を利用して、更なる陸
別町の魅力を町外へ発信し
ていく考えはないか。

（町長）

A 町民の生活感情が上
がるような企画として、
10月に株式会社りくべつと
商工会等の事業者が連携し
て、町民を対象とした、物

産販売を行うと聞いている。
このイベントは、プレミアム
付商品券も活用できるの
で、多くの町民に楽しんで
いただきたい。



▲多くの町民が楽しんだ道の駅フェア(10/18)

当町では、ホームページ
やツイッターを活用してあ
り、全国の方から大変多く
の閲覧をいただいていると
認識している。よって、更
なる情報発信を行うことに
より、大きな効果が出るこ
とに期待したい。

第6期陸別町総合計画における

SDGsについて

Q 第6期総合計画の中
にSDGsが組み込ま

れた背景と経緯について伺
う。

（町長）

A 町の最上位計画であ
る総合計画にSDGs
の要素を取り入れたのは、
陸別町の町づくりが、世界
の国際目標とされるSDG
sと同じ方向に向かって進
めて行くことは、大切なこ
とであると考え、総合計画
の中に取り入れた。

Q SDGsの考えに基
づいた地方創生の取り
組みのワークショップ等が
開かれているが、今後、町
職員だけでなく、町民にも
SDGsについて知る機会
を設けてはどうか。

（町長）

A 町が主体のSDGs
に関わるワークショップ
形式の研修会を行う予定
はしていない。

しかし、総合計画にSD
Gsを使用していることも
あり、今後、町の広報紙に
掲載する等、様子を見なが
ら考えていきたい。

条例・その他の審議結果

件名	審議結果
● 北海道市町村総合事務組合理約の変更について	可決
● 北海道市町村職員退職手当組合理約の変更について	可決
● 北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の変更について	可決
● 陸別町営住宅設置条例の一部を改正する条例	可決

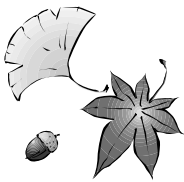
常任委員会活動の様子

総務常任委員会

令和3年4月から始まる第8期介護保険事業計画の策定状況及び福祉住宅「からまつハウス」の運営状況等の内容について、10月23日に保健福祉センターの担当者から説明を受け、意見交換を含めて調査を行った。

産業常任委員会

新型コロナウイルス感染症による地域経済の動向、プレミアム付き商品券の実績と経済効果等について、10月23日に商工会職員から説明を受け、意見交換を含めて調査を実施した。現在、新型コロナウイルス感染症の終息が見えないこともあり、引き続き調査を行っていくことを確認し、委員会を閉じた。



可決した意見書

● 林業・木材産業の持続可能な発展に向けた施策の充実・強化を求める意見書

● 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

● 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

議会の動き

【8月】

27日 議員協議会

【9月】

4日 議会運営委員会

8日 9月定例会

議員協議会

総務常任委員会

産業常任委員会

議会運営委員会

9日 9月定例会

議会運営委員会

15日 9月定例会

議員協議会

16日 9月定例会

議員協議会

16日 議会運営委員会
(広報編集会議)

【10月】

23日 議会運営委員会
(広報編集会議)

総務常任委員会

(介護保険事業計画等)

産業常任委員会
(商工会)

次回の定例会は12月に開催されます。詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。皆さんの傍聴をお待ちしております。



陸別町議会 ホームページのご案内

一般質問の録音を聞いたり、会議録などの閲覧ができるようになりました。

【陸別町議会ホームページ】
<http://www.rikubetsu.jp/gikai/>